





[地形図の凡例]

-  (緑色の線)：ハイキングあるいは登山（初級～中級レベル）ができる古道*
-  (緑の破線)：古道だがハイキングには相応しくない道（交通量が多い車道など）。あるいは古道ではないが通らざるをえない道。
-  (赤の実線、破線)：消失した道、推測される道、あるいは危険箇所がある熟練登山者向けの道
-  (紺の実線、破線)：国土地理院の地形図に掲載されていない上記以外の道

※緑の線が必ずしも古道とは限りません。古道と推測される道や古道を拡張・整備した車道も含まれます。また、古道は時代によって位置を変化させることが多いため、現状の歩ける道を緑の線で示しています。

ハイキングに相応しくない道は破線で表現していますが、歩いて楽しめるかどうか、安全かどうかは、調査した個人あるいはグループの判断によるものです。

● GPS 軌跡の記載について

- ① 国土地理院の「地理院タイル」に古道とコメントを追記して掲載しています。
- ② 調査にあたり、原則として GPS 測定を行っていますが、「地理院タイル」の道と GPS の軌跡が異なることがあります。
その場合、基本的に「地理院タイル」の道に即して古道を記しています。
主な理由は以下になります。
 - ・「地理院タイル」と GPS 測定値のどちらが誤りが判断がつかない。
 - ・GPS の軌跡のままだと複数の道があるように受け取られ、道迷いを生じかねない。
 - ・GPS の軌跡が「地理院タイル」の道から数メートルずれて、住宅や田畑などを通っているときがあり（複数のスマホで測定しても）、GPS 軌跡を辿ることで混乱を来す。
 - ・大きくは異ならないため、大きな問題ではない。
- ③ 地形図に記載されていない道は、GPS の軌跡をそのまま記載しています。
- ④ 川が流れる位置など、地形図と現場が著しく異なるところがありましたが、地形図に手を入れることはしていません。
- ⑤ GPS を用いて調査をしていますが、「地理院タイル」と GPS 軌跡の違いが誤解を招き、道迷いや危険箇所を歩くことになりかねないので、敢えて手書きで「地理院タイル」もしくは GPS 軌跡をなぞっています。